



2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月11日
上場取引所 東

上場会社名 ショーボンドホールディングス株式会社
 コード番号 1414 URL <http://www.sho-bondhd.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岸本 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 関口 恭裕 TEL 03-6892-7101
 四半期報告書提出予定日 2020年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の連結業績（2019年7月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	49,977	8.0	10,438	5.7	10,580	4.9	7,078	4.5
2019年6月期第3四半期	46,291	2.9	9,873	7.3	10,082	7.3	6,771	8.3

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 6,357百万円 (3.8%) 2019年6月期第3四半期 6,123百万円 (△6.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	131.51	—
2019年6月期第3四半期	125.80	—

(注) 2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	98,079	80,292	81.8
2019年6月期	94,595	78,108	82.5

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 80,270百万円 2019年6月期 78,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	50.00	—	85.00	135.00
2020年6月期	—	35.00	—		
2020年6月期（予想）				39.50	74.50

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年6月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,800	8.2	12,200	4.0	12,600	3.6	8,400	4.0	156.05

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期3Q	56,745,180株	2019年6月期	56,745,180株
② 期末自己株式数	2020年6月期3Q	2,917,086株	2019年6月期	2,916,840株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期3Q	53,828,203株	2019年6月期3Q	53,828,710株

(注) 2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「発行済株式数（普通株式）」を算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

2019年11月に当社子会社のショーボンド建設株式会社が施工する東名高速道路の橋梁補修工事現場で発生いたしました火災事故につきましては、発注者様のご指導のもと再発防止策を策定し、工事を再開いたしました。今後も、安全については最大限の注意を払い、これまで以上に安全管理の徹底等再発防止に取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を踏まえた対応としまして、各現場の工事継続及び一時休止につきましては、国土交通省からの通知に従い、発注者様と十分に協議を行ったうえで、協力会社等のご理解を得ながら個別に判断しております。公共工事及び河川や道路などの公物管理は、政府から発表された「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」において、社会の安定の維持の観点から、緊急事態宣言が出された場合においても、事業の継続が求められる事業に位置付けられております。当社グループが行っている橋梁・トンネルなどの補修・補強工事の現場の多くはこれに該当しており、現時点でもほとんどの現場が稼働しております。

当第3四半期連結累計期間（2019年7月1日～2020年3月31日）における当社グループの連結業績につきましては、受注高は、第3四半期に高速道路会社から10億円を超える大型工事を複数受注したほか、国土交通省からの受注も順調に推移したことで、前年同期比8,279百万円増加（14.2%増）の66,724百万円となりました。受注残高は、好調な受注高が売上高を上回ったことで、前年同期比18,149百万円増加（34.4%増）の70,848百万円となりました。売上高は、豊富な手持ち工事の施工が順調に進捗したことで、前年同期比3,686百万円増加（8.0%増）の49,977百万円となりました。

利益につきましては、完成工事高の増加および高水準の完成工事粗利率を維持したことで、営業利益は前年同期比565百万円増加（5.7%増）の10,438百万円、経常利益は前年同期比498百万円増加（4.9%増）の10,580百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比307百万円増加（4.5%増）の7,078百万円となりました。

各セグメントにおける、受注実績、売上実績及び受注残高は次のとおりです。（各実績は外部顧客に対するものを記載しています。）

受注実績

（単位：百万円）

区分	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年7月1日 至 2019年3月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年7月1日 至 2020年3月31日）
国内建設	55,978	64,292（14.9%）
その他	2,466	2,431（△1.4%）
合計	58,444	66,724（14.2%）

（注）表中の百分率は、対前年同期増減率

売上実績

（単位：百万円）

区分	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年7月1日 至 2019年3月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年7月1日 至 2020年3月31日）
国内建設	43,824	47,545（8.5%）
その他	2,466	2,431（△1.4%）
合計	46,291	49,977（8.0%）

（注）表中の百分率は、対前年同期増減率

受注残高

（単位：百万円）

区分	前第3四半期連結会計期間末 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2020年3月31日)
国内建設	52,698	70,848 (34.4%)
その他	—	— (—%)
合計	52,698	70,848 (34.4%)

（注）表中の百分率は、対前年同期増減率

（2）連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より3,484百万円増加し、98,079百万円となりました。これは、工事代金、未払法人税等及び配当金の支払のため有価証券が減少した一方で、工事の大型化により受取手形・完成工事未収入金等が増加したためです。

負債は、前連結会計年度末より1,299百万円増加し、17,786百万円となりました。これは主に、賞与引当金が増加したためです。

純資産は、前連結会計年度末より2,184百万円増加し、80,292百万円となりました。これは、保有株式の時価下落によりその他有価証券評価差額金が減少した一方で、配当金の支払を上回る親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したためです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までの受注環境および工事採算は引続き良好ですが、社会情勢は日々変化しており、今後の発注公告の動向については各発注者様の対応を注視してまいります。当社グループでは、感染拡大防止策に万全を尽くし、全ての作業従事者の健康管理を最優先に考えたうえで、関係者間での協議を踏まえて工事の継続、休止を判断してまいります。

2020年6月期通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の連結業績も順調に推移しておりますので、2019年8月9日の決算発表時に公表した数値から変更はございません。なお、今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により業績予想の修正等が生じる場合には、速やかにお知らせします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	11,756	12,207
受取手形・完成工事未収入金等	28,903	42,788
有価証券	18,299	7,704
未成工事支出金	36	72
その他のたな卸資産	1,029	971
その他	1,103	1,479
貸倒引当金	△33	△27
流動資産合計	61,095	65,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,940	2,852
機械装置及び運搬具(純額)	241	217
工具、器具及び備品(純額)	241	208
土地	8,651	8,651
リース資産(純額)	—	51
建設仮勘定	8	173
有形固定資産合計	12,083	12,155
無形固定資産		
のれん	721	648
その他	118	97
無形固定資産合計	839	745
投資その他の資産		
投資有価証券	18,236	16,977
退職給付に係る資産	548	581
繰延税金資産	273	797
その他	1,534	1,641
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	20,576	19,983
固定資産合計	33,499	32,884
資産合計	94,595	98,079

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,845	5,635
電子記録債務	2,778	2,995
未払法人税等	2,375	2,056
未成工事受入金	687	1,122
賞与引当金	—	1,305
役員賞与引当金	306	—
完成工事補償引当金	104	159
工事損失引当金	58	26
その他	3,522	2,735
流動負債合計	14,678	16,035
固定負債		
繰延税金負債	82	—
土地再評価に係る繰延税金負債	323	323
完成工事補償引当金	424	407
役員退職慰労引当金	8	12
退職給付に係る負債	933	926
その他	35	81
固定負債合計	1,808	1,751
負債合計	16,486	17,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	34,762	34,762
利益剰余金	41,455	44,362
自己株式	△2,501	△2,502
株主資本合計	78,716	81,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,237	1,453
土地再評価差額金	△2,764	△2,764
為替換算調整勘定	△13	△13
退職給付に係る調整累計額	△109	△26
その他の包括利益累計額合計	△650	△1,351
非支配株主持分	42	22
純資産合計	78,108	80,292
負債純資産合計	94,595	98,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
売上高	46,291	49,977
売上原価	33,465	36,573
売上総利益	12,825	13,404
販売費及び一般管理費	2,951	2,965
営業利益	9,873	10,438
営業外収益		
受取利息	62	48
受取配当金	66	81
受取保険金	41	50
受取賃貸料	46	77
その他	19	21
営業外収益合計	235	280
営業外費用		
支払手数料	4	11
賃貸費用	20	52
事故関連損失	—	66
その他	1	7
営業外費用合計	26	138
経常利益	10,082	10,580
特別利益		
投資有価証券売却益	0	23
関係会社株式売却益	11	—
その他	6	0
特別利益合計	18	23
特別損失		
完成工事修補費用	131	115
投資有価証券評価損	—	63
その他	0	3
特別損失合計	131	183
税金等調整前四半期純利益	9,968	10,420
法人税、住民税及び事業税	3,507	3,661
法人税等調整額	△309	△298
法人税等合計	3,197	3,362
四半期純利益	6,771	7,058
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△20
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,771	7,078

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	6,771	7,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△704	△784
為替換算調整勘定	0	0
退職給付に係る調整額	55	83
その他の包括利益合計	△648	△701
四半期包括利益	6,123	6,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,123	6,377
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△20

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結貸借対照表に関する注記）

偶発債務

2016年6月期において当社の子会社であるショーボンド建設株式会社及びその子会社が施工した橋梁補修工事で使用した落橋防止装置の部材に一部溶接不良があることが判明し、調査及び修補に伴う費用のうち当第3四半期連結累計期間に発生した費用115百万円を完成工事修補費用として特別損失に計上しています。

また、将来発生が合理的に見込まれる調査、修補費用として完成工事補償引当金に計上した金額は、当第3四半期連結会計期間末において、流動負債109百万円、固定負債407百万円となっております。

一方、製造に起因する不良が判明した場合、その調査・修補費用については製造会社に求償することとしており、製造会社からの回収の都度、特別利益に計上する予定です。

しかしながら、今後数年間調査の過程で新たに修補費用が発生する可能性があり、また製造会社からの回収状況により、連結業績に影響が生じる可能性があります。その時期及び総額については現時点では合理的に見積もることが出来ないため、その影響を四半期連結財務諸表に反映していません。

（四半期連結損益計算書に関する注記）

事故関連損失

当社子会社のショーボンド建設株式会社が施工する東名高速道路の橋梁補修工事で、2019年11月21日に発生した火災事故に伴う損失見込額（足場の撤去、現場の復旧等）のうち、当第3四半期連結累計期間に発生した損失額66百万円を営業外費用に計上しました。

なお、当火災事故に伴う損失額について受取保険金の発生が見込まれますが、現時点において確定していないため、計上しておりません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	国内建設				
売上高					
外部顧客への売上高	43,824	2,466	46,291	—	46,291
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	1,268	1,269	△1,269	—
計	43,826	3,734	47,560	△1,269	46,291
セグメント利益	9,044	791	9,836	37	9,873

(注) 1 「その他」には、海外建設、製品製造販売業を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額の内訳は次のとおりです。

(単位:百万円)

	金額
セグメント間取引消去によるもの	205
セグメントに配分していない全社費用(注)	△167
その他の調整額	△0
計	37

(注) グループ全体の経営管理に係る一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	国内建設				
売上高					
外部顧客への売上高	47,545	2,431	49,977	—	49,977
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	1,533	1,547	△1,547	—
計	47,559	3,965	51,524	△1,547	49,977
セグメント利益	9,721	706	10,427	10	10,438

- (注) 1 「その他」には、海外建設、製品製造販売業、海外製品販売業を含んでいます。
 2 セグメント利益の調整額の内訳は次のとおりです。

(単位:百万円)

	金額
セグメント間取引消去によるもの	192
セグメントに配分していない全社費用(注)	△178
その他の調整額	△2
計	10

- (注) グループ全体の経営管理に係る一般管理費です。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。